

個性豊かなパフォーマンス

7月3日、産業文化会館ホールで第14回「ときめきレインボーフェスティバル」が開催されました。

行田市文化団体連合会に加盟している団体が、楽器の演奏や歌、舞踊、詩吟、フラダンスなど多彩で個性豊かなパフォーマンスを披露しました。会場からは大きな歓声と拍手が送られ、年に一度の祭典は大成功を収めました。



犯罪や非行のない地域づくりを

7月1日、「みらい」文化ホールで第61回社会を明るくする運動行田地区大会が行われました。

この運動は、すべての国民が犯罪や非行を防止し、罪を犯した人たちの更生について理解を深め、犯罪のない安全で安心な地域社会を築こうとするものです。罪を犯した人の社会復帰をどのように地域で支えていくのかという内容のビデオ上映などが行われ、参加者一人ひとりが犯罪や非行のない地域をつくるために何ができるか、あらためて考えている様子でした。

熱い気持ちでチームに勝利を

6月25日、グリーンアリーナで第21回綱引き大会が行われました。

この大会には市内の小学校から53チームが参加。低・中・高学年のグループに分かれ、各グループで熱戦が繰り広げられました。試合開始のホイッスルが鳴ると練習どおり重心を低くし、夢中で綱を引く児童たち。勝利したチームは全身で喜びを爆発させ、惜しくも負けてしまったチームの中には悔し涙を見せる児童の姿も。保護者や仲間から熱い声援を受けた児童らは、チームの勝利のために全力を尽くしていました。



地域の魅力がさらにアップ

7月9日、長野地区の旧忍川で「埼玉県水辺再生100プラン旧忍川水辺再生現場披露会」が行われました。

この披露会では、再生された旧忍川の水辺を今後も守り育て、観光振興に活用していくために、地元団体・市・県が協定を締結しました。出席した上田県知事をはじめ、工藤市長ら関係者は整備された川沿いの遊歩道を自転車で軽快に駆け抜けていました。さきたま古墳公園と古代蓮の里をつなぐこの水辺が整備されたことで、より一層地域の魅力を感じることができるようになることでしょう。